

決算特別委員会会議録

平成24年10月15日(月)

(開会) 10:00

(閉会) 10:30

委員長

ただいまから、平成23年度決算特別委員会を開会いたします。「認定第1号 平成23年度飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」から「認定第13号 平成23年度飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」までの13件を一括議題といたします。

この際、皆さんにお願いいたします。本日の委員会は資料要求のみにとどめ、実質審査は、10月29日、30日及び10月31日の3日間で行いたいと考えておりますのでご了承願います。

次に、効率的に審査を進めていくために、先にお願ひしておりました通告分の資料要求以外の通告外の資料要求につきましては、本日用意させていただきますようご協力をお願いいたします。なお、資料要求は一括してお諮りしますので、執行部は後で答弁できるように整理しておいてください。それではただ今から、資料要求をお受けいたします。はじめに、事前に通告をいただきました資料要求につきましては配付しております一覧表のとおりでございます。道祖委員、補足等がございましたらお願いいたします。

道祖委員

ありません。

委員長

次に、宮嶋委員、補足等がございましたらお願いします。

宮嶋委員

ありません。

委員長

次に、事前通告以外に資料要求はありますか。

(資料要求なし)

他に資料要求はないようですので、本日の資料要求は以上をもちまして終結いたします。

それでは、執行部に提出できるかどうかの答弁を求めます。

財政課長

各課にまたがりますので、私のほうで一括して答弁をさせていただきます。資料要求一覧表に記載されております資料につきましては、すべて提出をさせていただきます。

委員長

お諮りいたします。ただ今、各委員から要求がありました資料については、要求することにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって執行部に資料の提出を求めます。ただ今、要求した資料のうち、既に準備できているものがございますので、事務局に配布させます。

(事務局による資料配布)

次に、執行部から認定議案に対する補足説明を求めます。

財政課長

それでは平成23年度決算の概要について説明させていただきます。配布いたしております「平成23年度飯塚市決算に係る主要な施策の成果説明書」をお願いいたします。1ページをお願いいたします。まえがきの中段部分に記載しておりますように、本市の平成23年度の予

算につきましては、総合計画の目標の実現に向け、自主的かつ主体的な地域づくりや市民生活の向上を図るため、行財政改革実施計画等を反映させ、事務事業評価を活用した事務事業の縮小・廃止・改変に積極的に取り組むことを方針として予算編成いたしました。この予算に基づき平成23年度で実施しました主要な事業名を後段部分のかぎカッコ内に記載しておりますが、市民福祉の向上、地域経済の推進、生活基盤・住環境の整備及び教育の充実などに向けた各種事業を実施いたしました。

3ページをお願いいたします。決算の状況・決算規模の推移および歳入・歳出の状況についてご説明いたします。の「決算の状況・決算規模の推移」でございますが、決算の状況につきましては、平成23年度の歳入歳出差引額（形式収支）及びこれから翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支とともに黒字となっております。また、この実質収支額のうち7億5732万7千円を地方自治法の規定により財政調整基金に繰り入れております。

の「歳入の状況」では、区分ごとに前年度との比較表を記載し、次の4ページ以降に主な款別の収入状況につきまして、前年度との増減内訳とその主な要因についての説明を表の下に記載しております。1款の「市税」につきましては、個人市民税および法人市民税は前年度よりやや減少いたしました。市たばこ税の税率改正などにより前年度比で100.8%、約1億900万円増加しております。5ページには、23年度一般会計歳入総額の約3割を占めております11款「地方交付税」について記載しております。参考欄および説明書きにもありますように、臨時財政対策債を合計した実質的な普通交付税は、約4億5900万円の減となりました。7ページ、15款「国庫支出金」につきましては、子ども手当負担金や平成22年度の精算交付を受けた生活保護費負担金が増加しましたが、災害復旧費負担金、国の経済対策関連交付金、名称の頭に地域活性化と記載してある交付金であります。これと制度終了による旧特定地域開発就労事業従事者暫定就労事業費補助金などの減により、全体で約2億6800万円の減少となっております。9ページに19款「繰入金」について記載しております。財政調整基金の記載はありませんが、これは行財政改革の効果等によりまして、人件費や公債費の減および普通交付税の増などにより、前年度に引き続き財政調整基金の繰入れ、取崩しをせずに決算できております。

11ページをお願いいたします。歳出の状況になります。こちらにつきましても各款ごとに前年度決算額と比較いたしまして、増減の主な要因について歳入と同様に表の下に説明文を記載いたしております。1款の「議会費」では、議員定数の減による報酬・期末手当および条例廃止による政務調査費補助金が減少しましたが、議員年金制度廃止に伴う公費負担率の変更による議員共済給付負担金が増加したことなどにより、約7300万円の増額となっております。2款「総務費」では、昨年度に引き続き減債基金積立金を将来の公債費負担に備え、約10億5200万円積立てることができました。また、財政調整基金につきましても、財源調整により約4億2000万円の積立てを行っております。

12ページの3款「民生費」では、子ども手当、生活保護扶助費など扶助費の伸びや介護基盤緊急整備補助金の増などにより、大幅な増額となっております。4款「衛生費」は、子宮頸がんワクチン等の開始による予防接種委託料や合併特例債を活用した老朽施設更新事業等実施に係る水道事業会計補助金が増額となっております。また、平成22年度からの清掃工場電気・機械設備等更新事業につきましても引き続き実施いたしております。5款「労働費」では、県の制度を活用した緊急雇用創出事業および制度終了により旧特開事業従事者暫定就労事業費が減額となっております。

13ページの6款「農林水産業費」では、農業施設に係る浸水対策事業の実施等により増額となっております。各所農業施設の改修等を実施しました国の経済対策交付金事業費が大きく減額となりました。7款「商工費」では、中小企業資金融資預託金の減および元金償還の開始

による工業用地造成事業特別会計繰出金の増が主な増減の要因となっています。8款「土木費」は、市営住宅建設事業費や国の経済対策交付金事業費などが減額となりましたが、黒岩・堤田線道路新設事業、中心市街地活性化事業の飯塚本町東地区土地区画整理事業および浸水対策事業などの実施により、約1億6400万円の増額となっています。

14ページの9款「消防費」につきましては、常備消防費に係る普通交付税の基準財政需要額の減により飯塚地区消防組合負担金が減額となりましたが、東日本大震災対応に係る追加掛金のため消防団員等公務災害補償共済基金負担金が増額となっております。10款の「教育費」では、国の経済対策事業を含んでおりますが、本市の重要施策の一つである小中学校整備費が約3億6800万円増加いたしております。

15ページの11款「災害復旧費」につきましては、平成23年度は大きな災害が無く、平成22年度の繰越分の復旧等を実施いたしました。12款「公債費」では、前年比で約6億5500万円の減額となりましたが、これは主に一般廃棄物処理事業債や合併推進債などの償還終了等によるものでございます。13款の「予備費」は、主に東日本大震災に係る職員派遣経費や住宅用太陽光発電システム設置費補助金の追加など緊急に対応すべき経費等に充用いたしております。

16ページをお願いいたします。「主要施策の成果」につきましては、平成21年度から取り組んでおります「事務事業評価シート」を活用いたしまして、当該事務事業に要した経費、目的、実施状況、目標達成度、成果と課題について抜粋して記載しております。本年度は一般会計のほぼ全費目にわたって147の主な事務事業について掲載をいたしております。事業ごとの内容の説明は省略させていただきますが、平成23年度に得られた成果や今後取り組んでいく課題等々記載しておりますので、審査のご参考にしていただきたいと思います。91ページからは特別会計について記載しておりますが、基本的には一般会計と同様の形式の成果説明書となっております。

続きまして、117ページ以降に掲載しております資料を用いまして決算の概要を説明させていただきます。118ページをお願いいたします。この表は、会計毎に決算額を前年度と比較したものでございます。23年度の一般会計の歳入総額は、590億6134万8千円、歳出総額は、574億1173万円、差引16億4961万8千円の黒字ですが、このうち24年度への繰越財源が1億3496万5千円含まれていますので、実質の黒字はこの繰越分を除いた15億1465万3千円となります。数字の記載はございませんが、この差引分が実質的な黒字分となります。一般会計と12の特別会計を合計いたしますと、歳入は1028億9967万7千円、歳出は1018億7257万5千円、差引は10億2710万2千円の黒字となっております。全会計のうち、小型自動車競走事業特別会計のみで7億4519万9千円の赤字決算となっており、24年度からの繰り上げ充用金で赤字決算の処理をいたしております。

次の119ページ、地方債現債高推移表でございしますが、平成14年度からの地方債現債高の推移をまとめたものでございます。普通会計の計の欄から5行上になります。臨時財政対策債は、前年比で約15億7000万円増加しておりますが、これは償還時に全額普通交付税に算入されますので、実質的な市の負担にはなりません。普通会計の計としましては、一般廃棄物処理事業の一部償還が終了したこと等々により、22年度に引き続き減少し、前年度より11億700万円ほど少なくなっております。

120ページをお願いいたします。120ページの表は、平成21年度末から23年度末までの基金の状況についてまとめましたもので、財源調整のための基金である財政調整基金、一番上の行になりますが、こちらの基金は、23年度末残高が約55億6800万円となっております。前年度末より12億3100万円ほど増加しております。また、将来の公債費に備えた減債基金の積み立ても行うことができ、前年度末より約10億4900万円多い24億2700

万円の残高となっております。

次の121ページには基金の運用状況についての資料をつけております。左の表では、預金・債権・貸付金の運用区分ごとの年度末現在高を記載しており、右側の表に平成23年度の預金利子および運用収入の内訳を記載しております。収入額は、大口定期預金等による預金利子が3815万1千円、国債・仕組み債等による運用収入が3046万5千円となっております。

124ページをお願いいたします。この表は、普通会計、一般会計と三つの特別会計を合計したものでございますが、この普通会計の財政指数等の10年間の推移をまとめたもので、右端の列に平成23年度の決算状況について記載しております。普通会計の歳入・歳出総額とも前年度より若干の伸びを示しております。歳入から歳出を差し引いた形式収支は、約16億7600万円、翌年度繰越し財源を除いた実質収支は15億3200万円の黒字となっております。単年度収支から財政調整基金の積立金等を加算し繰入金を除いた実質単年度収支につきましても、前年度に引き続き約3億6700万円の黒字となりました。下から7行目に記載しています経常収支比率は、地方公共団体の財政の弾力性を示すもので、経常的に収入することができる市税などの一般財源のうち人件費・扶助費・公債費などの必ず支出しなければならない経常的な経費に充てる一般財源の割合を表しています。23年度では92.3%となり、前年度の92.6%よりわずかですが0.3ポイント改善しています。速報値で政令市を除く福岡県下26市の中で20番目に位置しており、平均の89.7%をやや上回っている状況であります。また、今回の改善の要因としては、歳出で扶助費が大きく増加したものの、行財政改革の効果などにより人件費や公債費が減少したことが挙げられます。歳入面では普通交付税の増加による影響が大きいと分析しております。

次の125ページに記載しております健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率につきましては、9月議会でご報告いたしましたので、説明は省略させていただきます。126、127ページに一般会計歳入・歳出款別決算比較表をつけております。これらにつきましては、先ほど本編の中で主な増減内容についてご説明しましたので、ここでの説明は省略させていただきます。

128ページをお願いします。この表は、一般会計の歳出を性質別に22年度と比較したもので、主な増減の要因について説明させていただきます。義務的な経費、人件費、扶助費、公債費になりますが、このうち人件費につきましては、議員定数および職員数の減等により減少いたしております。公債費も前年度より大きく減少しておりますが、扶助費が障がい者自立支援給付費、子ども手当給付費および生活保護費等の増加により大幅に増加しております。積立金では、財源調整の余剰分を財政調整基金および将来の公債費に備え減債基金を積立てたことにより増加しております。投資及び出資金・貸付金は、老朽施設更新事業等の合併事業への出資分に係る水道事業会計補助金の増などにより増加をいたしております。また、投資的経費では、本市の重要施策である浸水対策事業、小中学校の大規模改造等の施設整備事業および中心市街地活性化事業関係の経費は増加しましたが、私立保育所整備事業費補助金、電算システム適正化事業および国の経済対策関連事業などの減により普通建設事業費が減少しており、災害復旧費につきましても平成23年度は大きな災害が無く大幅に減少いたしております。

143ページ以降は、総務省が示しました手法により、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表4表を普通会計および特別会計や一部事務組合等を含めました連結会計の2つの区分で作成し添付いたしておりますが、内容の説明は省略させていただきます。

以上で決算概要についての説明を終わります。

委員長

この際正副委員長から委員の皆さんをお願いいたします。執行部答弁が的確に行われ、より

実効性のある決算審査とするために、委員の皆さんには、事前の質疑事項通告をお願いいたしておるところでございますので、今回につきましても同様にご協力をお願いします。

なお、質疑通告の提出期限は、10月18日(木)までとなっておりますので、できるだけお早めに事務局まで提出いただきますよう重ねてお願いいたします。また、執行部におかれましては、質疑事項に対して、正確かつ簡潔に要領を得た答弁をされるよう、特に要望しておきますので、よろしくをお願いいたします。

お諮りいたします。本日の審査は、この程度にとどめ、次回の委員会を10月29日(月)午前10時から開きたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。「認定第1号 平成23年度飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」から「認定第13号 平成23年度飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」までの13件については、継続審査とすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

以上をもちまして、平成23年度決算特別委員会を散会いたします。お疲れさまでした。